

2年ぶりの出初式と成人式

市長 米本弥一郎



1月8日に消防出初式が、9日には成人式が挙行されました。両式ともコロナ対策を万全に、規模を縮小し時間も短縮しての開催です。

出初式の開催前に鈴木消防団長が「立ち位置はここだっけ？」とひと言。2年ぶりの開催で団長すら困惑する様子に、こんなところにも新型コロナウイルスが影響しているんだなと感じました。式では消防殉職者に黙とうをささげた後、人員服装点検や車両行進を行いました。また、県知事表彰など134名が受賞されました。昼夜を分かたず防災活動に尽力された功績に敬意を表します。市議会の代表よりご祝辞を頂戴し、受賞者代表の謝辞で閉式となりました。「自分たちのまちは自分たちで守る」という消防精神あふれる式に、旭市の消防を改めて心強く感じることができました。

成人式は、新成人の入場が進まず10分遅れの開式でしたが、来賓からは「外でおしゃべりしてるのでしょう。時刻を守るのが成人の第一歩ですが、今日だけは大目に見ましよう」と温かい言葉を頂きました。新成人の意見発表では、東日本震災やコロナ禍を経験した新成人ですが「人と人とのつながりの大切さ」「チャレンジ」「未来に向け後悔のないよう」「目標に向かって」「今を全力で生きる大人」と前向きな発表ばかりでした。代表謝辞も式の挙行や育ててくれた家族などへの感謝の言葉でつづられ、明るく晴れやかな成人式となりました。

いわゆる「Z世代」の新成人は、初めてオンライン授業やリモートワークを経験した世代です。ウィズコロナを共に歩もうと決意した、60歳の私にとって3回目の成人式でした。